

第2部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ

第3章 大西洋世界の変容とその波及

1節 ヨーロッパとアメリカの諸革命

④ ナポレオン戦争 (教科書 p. 86~87)

■ポイント

- ①ナポレオンの政治はフランスの人々へどのような影響を与えたのだろうか。
- ②ヨーロッパ各地で、フランス軍に対する抵抗がおきたのはなぜだろうか。

総裁政府から帝政の成立へ [p.86]

[] 政府 (1795.10~99.11) …政治的不安定

対外的危機… [] の結成 (99)

→ブリュメール 18 日のクーデタ

[] 政府の樹立 (99.11.9)

… [] が第一統領として実権をにぎり、中央集権体制を確立

[] 政府の樹立 (99.11.9)

… [] が第一統領として実権をにぎり、中央集権体制を確立

[対外]・フランスに平和をもたらす

[内政]・行政・教育制度の改革

・ [] の制定 (1804)

…革命の成果を保証 (農民の土地所有権の確立)

→国民の支持のもと皇帝に (第一帝政)

革命の拡大と輸出 [p.86]

フランス革命思想の拡大…近隣諸国への共和政治輸出 (オランダ・スイスなど)

ナポレオン戦争とヨーロッパ [p.87]

ナポレオンの野望…インドへの道を制圧, アメリカ大陸植民地再建

イギリスとの戦争

→17世紀以来の英仏植民地争奪戦の総決算

・イギリス… [] (1805) で勝利

→海上封鎖

・フランス…アウステルリッツの三帝会戦

→ [] 発布 (1806)

ナポレオン支配… [] 解体, オランダ・スペインの一族支配

各地で反抗…占領支配, 大陸封鎖令, 税・兵員の調達に反発

プロイセン…国家による上からの改革 (農民解放・軍政改革など)

ドイツ, 東欧… [] の意識

→ [] 主義の形成

モスクワからワテルローへ [p.87]

モスクワ遠征の失敗

→ [] で敗北, 退位しエルバ島に

→翌年脱出, [] に敗北

→セントヘレナに